令和2年度第1回岐阜市環境審議会 会議録

日 時：令和2年10月30日（金）午後3時～4時45分

場 所：岐阜市役所 本庁舎低層部4階 全員協議会室

次 第：1 あいさつ

2 議題

審議事項(1) 令和2年度岐阜市環境基本計画の施策評価について

報告事項(1) 生物多様性アクションプランの点検結果について

報告事項(2) 第2期生物多様性アクションプランについて

審議事項(2) 路上喫煙禁止区域の見直しについて

報告事項(3) 令和2年度版「岐阜市環境白書」について

3 その他

資 料：・令和2年度岐阜市環境基本計画評価報告書

資料1

・2019年度生物多様性アクションプラン進捗状況及び点検・評価について（ぎふし生物多様性だより）

資料2

・第2期生物多様性アクションプラン（2020-2023）

資料3

・路上喫煙禁止区域の見直しについて

資料4

・令和2年度版「岐阜市環境白書」について

資料5

出席委員：三井栄会長、内藤哲男副会長、児島利治委員、酒井英二委員、青木秀樹委員、伊藤理佐委員、笠井和美委員、河野美佐子委員、坂井田節委員、太田雅賀委員、小森忠良委員、青山武彦委員、奥村寛治委員、高原康光委員、（14名）

会議の公開の可否：公開

傍 聴 人：0人

【午前10時 開会】

○澤井係長（事務局）

・ただ今から「令和2年度第1回岐阜市環境審議会」を始めます。

○環境部長（事務局）

（あいさつ）

○澤井係長（事務局）

- ・本日の審議会は、委員14名中、全委員出席のため、岐阜市環境基本条例の規定により、本審議会は成立することを報告します。
- ・これより先の議事進行を三井会長にお願いします。

○三井会長

（あいさつ）

- ・はじめに、「審議事項(1) 令和2年度岐阜市環境基本計画の施策評価について」を議題とします。
- ・それに先立ち事務局から報告があるそうなのでお願いします。

○堀内次長（事務局）

- ・指標の数字の訂正をしたいと思います。机上に正誤表がお配りしてありますのでご覧ください。
- ・指標の2-1 市域における温室効果ガス排出量について、基準値を訂正いたします。
- ・2014 年度の基準値を 194.0 万 t から 196.4 万 t へ修正いたします。
- ・資料 1 の評価報告書につきましては、修正後の 196.4 万 t にて評価しております。

○三井会長

- ・改めまして、児島部会長よりご説明をお願いします。

○児島部会長

（資料 1 及びスクリーンに基づき説明）

○三井会長

- ・ただ今の評価部会からの評価、ご意見に対し、市のお考えがあればご発言をお願いします。

○堀内次長（事務局）

- ・全体評価に対する
- ・『計画策定後 2 年目であるが、達成した指標は 17 指標、達成率は 44%であり、前年度に比べ減少しているため、計画年度内の目標達成のために更なる取り組みが必要である。』
とのご意見ですが、
- ・目標達成には市民の皆様が主体的に取り組まれることが不可欠であります。行政としては、市民が環境保全に取り組むきっかけを効果的な手段で提供することが必要と考えますので、環境白書や広報ぎふなどの各種広報媒体、様々なイベント等を通して、環境意識を啓発し、多くの指標を達成できるよう、努力していきます。
- ・2 点目の、『達成率が低いものの中に、目標達成に近づいている項目もあり、様々な取り組みを進めていることを環境白書等で周知してもらいたい。』とのご意見ですが、
- ・環境白書では施策ごとに様々な環境に関する取り組みを紹介している他、特集やトピックス等で旬の話題や熱心に取り組まれている市民団体等を紹介しております。今後も、単に数字の結果を掲載するだけでなく、環境への取り組みを啓発することを念頭に、環境白書づくりを進めてまいります。

○三井会長

- ・ただいまのご発言にたいして、ご意見等ありましたらお願いします。

○小森委員

- ・評価部会という専門部会を審議会として作っておられるが、一般的には評価を事務局で行って委員に承認をもらうものですが、事務局が評価した場合と評価部会で評価した場合との違いはあるのでしょうか。あるいはどのような作業を経て評価報告書ができているのかを教えてください。

○三井会長

- ・事務局から評価部会の流れについてご説明願います。

○堀内次長（事務局）

- ・評価部会の委員は、環境審議会委員の中から選任いただき、前年度の環境部における施策について、目標が達成できているのかを評価していただく中で、施策が着実に実行できているのかを確認いただいています。
- ・また、その中でご意見をいただき、それを反映させることで次の行動に繋げることを目的としています。

○小森委員

- ・私が言いたかったことは、環境審議会があるのにわざわざ評価部会を設置して評価することの必要性を聞いているのです。
- ・普通ですと、事務局で評価した結果に対して我々委員が意見を言うという流れと違うので、そのメリットについて伺いたいです。

○堀内次長（事務局）

- ・市で評価した結果を報告するのではなく、実施している施策について委員からアドバイスをいただくことで、次に繋がっているのではないかと思います。

○三井会長

- ・補足いたしますと、当審議会において評価すべきすべての項目を審議することは時間的にも難しいため、評価部会を設置し、環境の知見をお持ちの児島委員に部会長をお願いし、自治会、生活学校から委員にご参加いただき、2回に亘って綿密に評価いただく仕組みになっています。

○小森委員

- ・ありがとうございました。

○三井会長

- ・その他よろしいでしょうか。

（意見なし）

○三井会長

- ・それでは、部会評価報結果を当審議会の意見として市に報告することといたします。
- ・続きまして、(1)生物多様性アクションプランの点検結果についてを議題とします。
- ・事務局からの説明を求めます。

○前田環境保全課長（事務局）

- ・生物多様性アクションプランの点検結果についてご説明いたします。

（【資料2】に基づいて説明）

○三井会長

- ・今のご説明に対してのご意見があればお願いします。

○酒井委員

- ・指標の達成状況を確認しますと、①以外がすべて達成できていますが、個別の取組は進んでいるが、それが市民に届いていないと受け取れます。そうすると、①の評価方法に問題があるのか、それともそれ以外の取組が目標は達成出来ているが、足りていないのか、どうお考えですか。

○前田環境保全課長（事務局）

- ・生物多様性の認知度の向上についてですが、「生物多様性」の言葉自体が浸透していないのではないかと思います。
- ・実際、生物多様性という言葉ではなく、普段の生活の中で自然を大切にされているように感じています。

○酒井委員

- ・だとすると、①の評価が○になるような評価の方法が望ましいのではないのでしょうか。例えば、多くの人が講座等に参加されていますので、それで周知できているということで、△ではなく○にもっていけるのではないかと思います。

○前田環境保全課長（事務局）

- ・今の指標は、エコフェスタやぎふメディアコスモスでのアンケートの結果になりますので、認知度の捉え方を検討したいと思います。

○三井会長

- ・今のご質問について、生物多様性という言葉自体で聞く必要はなく、もっと易しい言葉で、生物多様性に準じた言葉で「みなさんご理解いただいていますか？」という問いでもいいのではないかとこのご指摘であったと思いますので、そのあたり一度ご検討いただければと思います。
- ・その他ご意見はありますか。

○笠井委員

- ・2点質問があります。ファミリーパークの里山体験という記述がありますが、いつどのようなことをされたのでしょうか。
- ・もう一点、取り組み事例の中で小中学校の里山整備支援活動とありますが、具体的にどのようなことをされたのでしょうか。この2点についてご教えていただけますでしょうか。

○環境保全課吉村係長（事務局）

- ・ファミリーパークでの里山整備活動についてですが、十数年以上前に三輪中学校へ「近くにファミリーパークというすばらしい里山があるので、こちらの里山を整備しませんか」と声かけをさせていただいて以来、学校とNPO法人森と水辺の技術研究会に協力を得て学校の授業の一環として里山整備活等を取り入れています。毎年12月に3年生を対象に里山の間伐整備体験を実施しています。

- ・小中学校の里山整備につきましては、鷺山小学校の近くに鷺山があり、そちらでPTA活動として里山整備活動を実施しています。こちらは我々の他に、NPOの方にもご協力いただいています。

○笠井委員

- ・里山整備活動支援というのは、鷺山小学校だけの活動でしょうか。

○環境保全課吉村係長（事務局）

- ・現在は三輪中学校と鷺山小学校の支援をしています。

○笠井委員

- ・ファミリーパークの里山整備活動とは、三輪中学校の生徒が間伐の伐採を行ったとのことですが、これはいつ行われたのですか。

○環境保全課吉村係長（事務局）

- ・12月に毎年実施しています。

○笠井委員

- ・鷺山小学校は鷺山で実施しているのですね。

○環境保全課吉村係長（事務局）

- ・実施主体は鷺山小学校のPTAになりますが、そこに我々も参加しています。

○笠井委員

- ・鷺山では具体的にどのような活動をされているのでしょうか。

○環境保全課吉村係長（事務局）

- ・鷺山は元々人の手の入った里山でしたが、荒れていたため、混みすぎた木々の間伐を行いました。

○笠井委員

- ・鷺山も木々が増えたので実施したということでしょうか。

○環境保全課吉村係長（事務局）

- ・整備が目的ではなく、小学生が地元の自然に親しみ、体験を通して自然が良くなることを実感してもらうことを目的としています。

○笠井委員

- ・今後こうした活動を他の地区でも実施していくのでしょうか。支援をしていただけるのでしょうか。

○環境保全課吉村係長（事務局）

- ・そういった要望があれば、広げていきたいと考えています

○笠井委員

- ・わかりました。ありがとうございます。

○児島委員

- ・数点あるのですが、15 ページの生物多様性の認知度ですが、評価報告書の 13 ページ認知度の結果と小数点以下の数字が違うのですが、確認したほうが良いかと思います。
- ・認知度をアンケートで調査することは、やめたほうが良いのではないかと思います。今年度エコフェスタは実施するようですが、ここでもアンケートは実施しますよね。
- ・昨年度とは規模が違うので比較していいのかなと思いますので、検討したほうが良いかと思います。環境基本計画のアンケート併せて検討したほうが良いかと思います。

○前田環境保全課長（事務局）

- ・ロードマップ指標の現況値と、ご指摘のあった施策 4 の数字が違うのは、エコフェスタとメディアコスモスの来場者を含めると先ほど説明しましたが、それは施策指標だけで、アクションプランの点検結果についてはエコフェスタの来場者のみのアンケート結果となります。

○三井会長

- ・今の 2 点のご指摘について、1 点目はこれまで通りエコフェスタ来場者を対象としたアンケートが本当に認知度向上の状況を把握することになるのか。
- ・もう 1 点、評価報告書にもあるアンケートの質問形式「生物多様性という言葉を知っていますか？」という言葉を知っていることより、たくさんの生き物が暮らしていることを良しとするほうが大切だと思いますので、言葉を知っていることが本当に重要なのかを考えていただきたいと思います。
- ・今後第 2 期の生物多様性アクションプランが始まりますので、進めるにあたり一度ご検討いただきたいと思います。
- ・そのほかのご意見はよろしいでしょうか。
(意見なし)
- ・それでは、報告事項(2)第 2 期生物多様性アクションプランについてを議題とします。事務局に説明を求めます。

○前田環境保全課長（事務局）

- ・報告事項(2)第 2 期生物多様性アクションプランについてご報告いたします。

(【資料 3】に基づいて説明)

○三井会長

- ・ただ今のご説明に対して、ご意見、ご質問等あればご発言をお願いします。

○内藤副会長

- ・ロードマップによると、市民との協働による活動を年 60 回以上実施しますとありますが、月にだ

いたい 5 回くらい活動することになります。非常に多くの回数を設定されていますが、これほどのような活動をされているのでしょうか。

○環境保全課吉村係長（事務局）

- ・ 60 回の内訳についてですが、ヒメコウホネという条例で指定している植物があり、そちらは「達目洞自然の会」という市民団体が年に 12 回活動しており、我々も参加しています。
- ・ 他には、条例指定のヤマトサンショウウオについては、岐阜高校の生物部と一緒に保護活動をしていますし、他にも金華山サポーターズなどの岐阜市内の団体の活動にも参加しています。
- ・ そういった市民との活動を積み上げますと、60 回以上の目標が適正と考えます。

○内藤副会長

- ・ わかりました。市民団体がそういった活動をされて、市が携わっているということですね。ありがとうございました。

○青山委員

- ・ 10 ページ、生物多様性の関連産業とありますが、具体的にはどのようなものがあるのか教えてください。

○環境保全課吉村係長（事務局）

- ・ 自然環境保全推進委員会には農協、森林組合、漁協からの委員のほか、商工会議所から養蜂の秋田屋さんに委員として参加いただいています。
- ・ 岐阜市に自然があって初めて成立する産業の代表の方々に参加していただいています。
- ・ 自然だけを見て取り組んでいるわけではなく、我々の暮らしを支えている経済・産業と連携して生物多様性を保全するという考えで事業に取り組んでいます。

○伊藤委員

- ・ 内藤委員が言われたように、60 回以上という数字について、生協でも今年一切の組合活動を行っておりませんし、どこの団体さんも今年は自粛期間があると思いますので、去年と同じこの数字でよかったのかなと思います。

○環境保全課吉村係長（事務局）

- ・ ご指摘のとおり、今年は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けており、数字も下がるかと思いますが、それでも我々が目指す目標は高くという思いで、60 回と設定しています。

○青山委員

- ・ 関連産業の件で、直接産業の代表の方々にご参加いただいているようですが、長良川流域の伝統的文化を大切にしているような団体等もあるので、文化的要素を入れたほうがいいと思います。
- ・ 観光に関係する産業もありますし、多くの産業があるわけではないので、そのあたりを入れていただけると、視点が広がるかと思います。

○環境保全課吉村係長（事務局）

- ・貴重なご意見ありがとうございます。
- ・この取り組みは、ワークショップの形で展開を考えておりますので、最初は直接生物多様性に関連する産業の方々にご意見を伺うのですが、そこを起点として地域文化の方々にもご参加いただく形でのワークショップの展開を考えております。

○太田委員

- ・何かをやりますという目標ばかりですが、やったことによる効果を目標にするといいと思います。
- ・今ですと、目標が達成できていない①の認知度の向上がそれに該当しますが、生物多様性という言葉ではなく生態系の保全に力を入れていくべきであることがどれだけ認知されているのかを指標として表せるといいかと思えます。
- ・認知度は言葉ではなく、他の取組の効果がどれくらい出てきたかがわかるようなものになるといいかと思いました。

○前田環境保全課長（事務局）

- ・2019年度のアクションプランの評価報告の際にもご指摘いただいたとおり、認知度の向上に対する指標について設定するのが難しく、このような掴みやすいものが指標となってしまっています。
- ・いただいたご意見を参考に、指標については今後検討したいと思えます。

○環境保全課吉村係長（事務局）

- ・補足させていただきますが、自然環境保全推進委員会の部会でも同様のご意見をいただいております、そのために5ページのアクションプランの進捗状況を記入する箇所に、全体評価の意見を記入する欄を設けました。努力目標だけでは測れない部分について意見をいただく構成となっています。
- ・数値目標で測りにくい部分については、この意見の欄で把握したいと考えています。

○三井会長

- ・ありがとうございます。
- ・せっかく60回以上活動を実施するならば、そこに参加された方々の感想や評価について、定量的は無理でも定性的に入れておくことも今後ご検討いただきたいと思えます。

○笠井委員

- ・ロードマップとはどのような意味でしょうか。

○三井会長

- ・基本的には、毎年どのような形で目標を達成のために進んでいくのかを示したうえで、実際各年度その道をきちんと歩いてきたかを示しているものになります。

○笠井委員

- ・わかりました。

○小森委員

- ・岐阜市では今 SDG s に力を入れていますので、このどこかに岐阜市全体の SDG s の取組の中で環境として生物多様性という位置づけを出していただけるといいかなと思います。

○三井会長

- ・今回のアクションプランは別の審議会で決定しているものですので、むしろ SDG s の方にこういった考え方をいれるべきではないかと思しますので、ご検討をお願いします。

○前田環境保全課長（事務局）

- ・自然環境保全推進委員会の中に普及活用部会があり、その中で産業と生物多様性についてを SDG s というキーワードで結び付けてご議論いただいている状況です。

○三井会長

- ・その議論を反映した内容についてご説明いただければと思います。
- ・そのほかのご意見よろしいでしょうか。

（意見なし）

○三井会長

- ・様々なご意見をいただきましたので、皆さんの意見を反映させた内容で進めていただければと思います。
- ・次に審議事項(2)路上喫煙禁止区域の見直しについてを議題とします。事務局より説明を求めます。

○野々村低炭素・資源循環課長（事務局）

- ・審議事項(2)路上喫煙禁止区域の見直しについてご説明いたします。

（【資料4】に基づいて説明）

○三井会長

- ・ありがとうございました。結論から申しますと、庁舎ができることで条例を適用しなくても禁煙場所に指定されるということです。ただし、条例が適用の場合は違反者に2千円の過料が課されますが、今回の場合は異なる違反条例が適用される点が違います。
- ・③の赤い区域が外されてもこの区域が禁煙区域になるので、外してはどうかというご提案です。
- ・ご意見がありましたらお願いします。

○青山委員

- ・市民に対して誤解のないように説明をきちんとしてもらいたいです。
- ・区域からは解除されますが、喫煙禁止であることをきちんと伝えてもらいたいです。

○酒井委員

- ・規制が重なるから片方外すということですが、重なったままで何か不都合があるのでしょうか。見回りをしなくてもよくなるだけで、それを除けば特に重なったままで問題ないのではないのでしょうか。
- ・2千円から30万円払うようになるだけで、誤解を招くような主張をするくらいなら、そのままでもいいように思うのですが、行政として外さないといけないのでしょうか。

○野々村低炭素・資源循環課長（事務局）

- ・しなければならぬわけではないのですが、根拠を明確にしたというのが一番大きいです。

○三井会長

- ・見回りということで、行政の労力を使っていることにもなりますので。ただ、順番としては、解除しますではなく、「ここが吸えない場所になりました」だから解除しますにしたほうが誤解がないかと思います。

○野々村低炭素・資源循環課長（事務局）

- ・内部でもそこは色を変えてでも「ここは法規制になりましたので喫煙できません」ということはきちんと書かなければいけないという話しはしていたのですが、すみません。もう少しわかりやすい表現としたいと思います。

○内藤副会長

- ・過料について、今後2千円から30万円になるということなののでしょうか。

○野々村低炭素・資源循環課長（事務局）

- ・その可能性があるということです。

○三井会長

- ・今後の予定についてですが、後は関係団体の意見聴取を経て、2月に告示ですが、それ迄にもう一度環境審議会が開催される予定ですので、告示のあり方についてご提示いただいて、委員からの意見を聞いていただいたほうがいいのかと思いますのでご検討ください。

○三井会長

- ・それでは報告事項(3)令和2年度版「岐阜市環境白書」についてを議題とします。事務局より説明を求めます。

○環境政策課大橋主任（事務局）

- ・報告事項(3)令和2年度版「岐阜市環境白書」についてご説明いたします。

（【資料5】に基づいて説明）

○三井会長

- ・今のご説明に対してご意見、ご質問等はありませんでしょうか。

(意見なし)

- ・年々環境白書については見やすく、わかりやすい内容となっているかと思しますので、スケジュール通り作業を進めていただくということによろしいでしょうか。

(異議なし)

○三井会長

- ・ありがとうございます。
- ・これにて議事はすべて終了いたしましたので、3.その他としてご意見はありませんでしょうか。

○野々村低炭素・資源循環課長（事務局）

- ・一点よろしいでしょうか。お配りしました第2回岐阜市エコフェスタのちらしについてご案内させていただきます。

(11月22日開催予定の第2回岐阜市エコフェスタの内容について案内)

○三井会長

- ・ありがとうございました。
- ・閉会のお言葉を内藤副会長からいただきたいと思います。

○内藤副会長

- ・本日は、様々なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。本日は、皆様の忌憚ない意見をいただきまして、よかったですと思います。
- ・それではこれもちまして、本日の審議会を終了いたします。
- ・ありがとうございました。

○事務局一同

- ・ありがとうございました。

【午後時4分45分 閉会】